

I C T を活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮学校	実践日	平成29年6月13日 (火)
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	1年
		単元名	校外学習の思い出をまとめよう
	I C T を活用した学習活動の説明		
	校外学習の思い出をKeynoteを用いてまとめる。		
	主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け
		<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料
		<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	<input checked="" type="checkbox"/> 体験の想起
		<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示
		<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行
		<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> その他 ()
	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習
	活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開
			<input type="checkbox"/> まとめ

○成果（効果）等

教員	○感想を学年通信等に引用・共有しやすい。 ○印刷して掲示しやすく、生徒間での感想の共有もさせやすい。 ○感想の共有から「こんなことあったのか！」等の意見が聞けた。
児童生徒	○文章の推敲、編集が容易なこと。 ○写真をGooglePhotoから共有でき、より具体的な感想文を書ける。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年5月18日 (木)
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	3年
		単元名	民泊先で淡路・一宮を紹介しよう
	I C T を活用した学習活動の説明		
	keynoteの共同編集機能を使ってグループで作成したものを、修学旅行の民泊先でお世話になる家庭の人を相手にプレゼンテーションを行う。		
	主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け
		<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料
		<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	<input type="checkbox"/> 体験の想起
		<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示
		<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行
		<input type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> その他 ()
	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> 個別学習
	活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input type="checkbox"/> 展開
			<input checked="" type="checkbox"/> まとめ

○成果（効果）等

教員	○グループに1台タブレット端末を修学旅行へ持って行き、民泊先でプレゼンをさせた。普段生徒同士でプレゼンしているが、知らない人に対してできるかの実験の意味も込めてさせた。成果はプレゼンをきっかけによく話すようになるなどコミュニケーションツールとしての役割を果たした。
児童生徒	○自分のタブレット端末で共通したファイルをこまめに編集することが出来た。生徒にとっては大人に対して行う初めてのプレゼンであったが、「民泊先の人に喜んでもらえて嬉しかった。」「改めて淡路の良さを知ることが出来た。」というような感想があり、前向きにとらえられた。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	姫路市立東光中学校		実践日	平成30年1月26日（金）	
研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践		学年	2年	教科等
単元名	SNSの使い方を考えよう				
I C T を活用した学習活動の説明	SNSを使う上での注意点を、班で相談しながらタブレット端末に書き込む。				
主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示	<input checked="" type="checkbox"/> 動機付け	<input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着
	<input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示	<input type="checkbox"/> 比較	<input checked="" type="checkbox"/> 体験の代行	<input type="checkbox"/> 振り返り
	<input type="checkbox"/> その他（ ）				
活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習		
活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input checked="" type="checkbox"/> まとめ		

○成果（効果）等

教員	○ネットモラルの学習として、まず動画（アニメ）を見せることで状況を簡単に把握させることができた。また、SNSを扱う際、どんな危険が潜んでいるかを体験的に考えさせることができた。
児童生徒	○タブレット端末を用いて、動画の場面ごとにどのような問題があるのかをグループで話し合うことができ、SNS上での軽率な発言が、大きなトラブルに結びつく可能性があることが理解できた。また、最後にタブレット端末を用いてネットモラル検定を実施することにより、本時の振り返りができた。